

4月1日現在 前月比

男	14,460	-10
女	14,512	- 8
計	28,972	-18
世帯数	6,544	- 5

No.346 昭和59年4月15日発行 茨城県八郷町役場（電話 02994(3)1111代）中村謙一 印刷 やまと印刷所



老人芸能発表大会

百寿会連合会主催の老人芸能発表大会が、3月29日、中央公民館の大講堂で開かれました。

この日、日ごろ鍛えた歌や踊りなどを披露したのは、40人(組)のお年寄りです。全地区のお年寄りが一堂に集まった中で発表する、年1回の松舞台とあって、全員大張り切りでした。また見学には、約600人収容の大講堂がいっぱいになるほどのお年寄りが訪れ、仲間の発表に笑顔で拍手をおくなど、楽しいひとときを過ごしていました。

主な内容

○議会から ————— 2～3P

- 59年度予算のゆくえ ————— 4～7P
- 希望とやすらぎのまち『やまとビア』 8～10P
- オアシス運動作文の入選作品紹介 ————— 13P

各会計予算など25議案を可決 使用料等の改正は4%から

町議会第一回定期会が、三月十二日から二十三日までの、十二日間の会期で開かれました。

今回の議会では、昭和五十九年度の町政の基本となる各会計予算のほか、空き缶回収に関する条例など、合わせて二十五議案が審議されました。殊に、十四日と十六日には、総勢十六名の議員が一般質問を行い、町政全般にわたる活発な質問が交わされました。

審議された議案は、いずれも原案どおり可決されました。その主な議案の内容は次のとおりです。

空き缶回収条例を制定

最近、いたるところに空き缶が散乱して、社会問題化しています。

このような状況を打開し、地域の環境を美しく保つていて、空き缶の散乱防止とその効果的な回収について定めた「八郷町空き缶回収に関する条例」が制定されました。条例は、町民、事業者、町などの責務、自動販売機の届出、実施計画等から成っており、四月一日から施行されています。

特別職の給与等を改正

町長・助役・収入役・教育長の常勤特別職員の給与、教育委員・農業委員・選舉管理委員等の非常勤特別職員、議

会議員、消防団員の報酬が引き上げられ、関係条例が改正されました。これは、新治郡

特別職報酬等審議会の答申に基づいた引き上げで、四月一日から施行されています。

改正後の額は、町長が月額三万六千円、収入役が四十万五千円、助役が四十五万一千円、教育長三十七万八千円、議長二十万九千円、副議長十八万五千円、議員十七万四千円などです。

使用料等を引上げ

町営キャンプ場、簡易水道、運動公園に関する条例が改正され、それぞれ料金等が引き上げられました。

町営キャンプ場関係は、バンガロー、持込テントの使用料（一日当たり）の引き上げです。改正後の使用料は、バ

58年度一般会計

ンガローが一棟二千五百円、持込テントが一人一百円です。

改正

運動公園関係は、ブールの

使用料の引き上げです。改正後の使用料は、一般が午前一小・中学生がこの半額です。

簡易水道関係は、水道料金の改正で、基本料金と超過料

金が引き上げられました。新料金は、基本料金が九百円、超過料金が百円（三一畳以上は一四〇円）です。

これらの引き上げは、いずれも町料金等審議会の審議を経て議会に提案されたもので、四月一日から施行されています。

歳入の主なものは、地方交付税二千万円、繰越金一億八千六百三十七万六千円、町債一千三百九十万円の増額です。歳出は、財政調整積立金二億七千三百万円の増額と、道路台帳整備委託料八百五十万円、道路改良・舗装工事代一千二百万元、公債費一千四百六十万元、公債費一千四百六十万元の減額が主なものです。

園部簡水工事を追加

昭和五十八年度から進めていた、園部地区

簡易水道創設事業の請負契約が、第三・第四工区で結ばれました。いずれも、国庫補助金が追加交付されたことに伴う請負契約です。

第三工区の工事は、配水管四千七百九十二メートルの敷設と、



町営キャンプ場のバンガロー

消火栓七基の設置です。六社を指名した競争入札の結果、工費四千二百万円で落札した、柿岡の中沢機工株式会社が施工しています。

第四工区の工事は、配水管五千八百十五メートルの敷設と、消火栓八基の設置です。七社を指名した競争入札の結果、工費五千七百万円で落札した、水戸市の富士開発工業株式会社が施工しています。



恋瀬地区公民館が完成

昨年11月から建設を進めていた、恋瀬地区公民館が完成しました。旧公民館を取り壊した跡へ新築したもので、鉄骨平屋建て、延床面積482.73m²の施設です。

地域の皆さんのが集会や学習の場として、また福祉、文化など、いろいろな活動の場として、大いに活用していただきたいと思います。

なお、未整備となっている小桜地区公民館も、今年度中に建設することになっています。

〈恋瀬地区公民館の概要〉 ▷建設場所 大字小見624番地 ▷工期 昭和58年11月30日～昭和59年3月25日 ▷構造 鉄骨造り平屋建て ▷延床面積 482.73m² ▷事業費（本体・電気工事、設計監理料）6,375万円 ▷建物の内容 大会議室、小会議室、和室、調理室、事務室

※恋瀬地区公民館の建設費の一部は、国民年金積立金還元融資を受けています。

た、大字小幡の中山集落周辺の道路を整備するため、辺地と、消火栓八基の設置です。七社を指名した競争入札の結果、工費五千七百万円で落札した、水戸市の富士開発工業株式会社が施工しています。

整備される道路は、中山集

落から中山開拓を通過して、中山集

県道石岡筑波線（不動峠）を

結ぶものです。全長二千三百三十メートルのうち、すでに一千七百三メートルの開設と、

八百四十メートルの舗装が完

了しています。

今回の整備計画は、残る六百二十七メートルの開設と、

国の辺地整備の指定を受け

一般会計と国民健康保険、簡易水道、老人保健、菊地四郎顕彰社会福祉基金の四つの

昭和五十九年度から、昭和六十八年度までの十年間にわ

たつての、町政の指針となる

59年度予算の総額は87億円

特別会計を合わせ、総額八十億九千五百六十三万九千円の「昭和五十九年度予算」が決まりました。

一般会計は、前年度に比べ一・五%増の五十八億九千九百万円です。行財政の軽量化、効率化に努めながら、総合計画に盛り込まれた事業の推進に重点をおいて編成されています。

国民健康保険特別会計は、前年度に比べて一五・七%の伸びで、十三億八千四百十一万一千円です。この特別会計の目的ともいえる保険給付費（保険で支払う医療費）は、全体の七一・七%を占める九億九千三百七万四千円となっています。

老人保健特別会計は、六億八千六十九万九千円で、前年に比べて一・七%の伸びです。このうち、約六億七千八百万円が医療費の支払いに充てられます。

菊地四郎顕彰社会福祉基金特別会計は、基金の利子で運用しているもので、百八万五千円の予算です。

※予算内容など詳しいことは、一般会計を中心について、四ページに掲載しております。

らの四年間で整備を行うため、年度別の事業量と予算（四年間で約九千万円）が定められています。

この計画は、町の将来像を「希望とやすらぎの町」、「やさとピア」と定めて、その個性ある理想郷を実現していくための、いろいろな施策が盛り込まれています。

詳しくは、八から十ページをご覧ください。



町道中山開拓線

施政方針

〈要旨〉

近年の町を取り巻く状況を見ると、常磐自動車道の延長をはじめ、国際科学技術博覧会の開催など、各種事業が着々と進行しております。

町では、これらの状況に対応した町づくりを進めるため、第三次総合計画を策定し、「希望とやすらぎのまち・やさとピア」を基本理念として、各種の施策を進めて参ります。

積極的に企業を誘致

産業の発展は、いろいろな施設を整備するための財源を生み出し、高い福祉を行う基盤として、重要な意義をもっております。また、増え続ける兼業農家対策として、働く場の確保のためにも、積極的に企業誘致を図ります。

個性ある観光開発を推進

さらに、長い歴史の中ではぐくまれてきた、豊かな自然環境の保護活用を図りながら、個性ある観光開発を進めて参ります。特に、科学万博やフラワーパーク開園などを有効に活用し、施設の整備、果樹栽培、花木園芸の振興など、農業経営との結合を図つてい

59年度予算のゆくえ

一般会計

予算総額は59億円

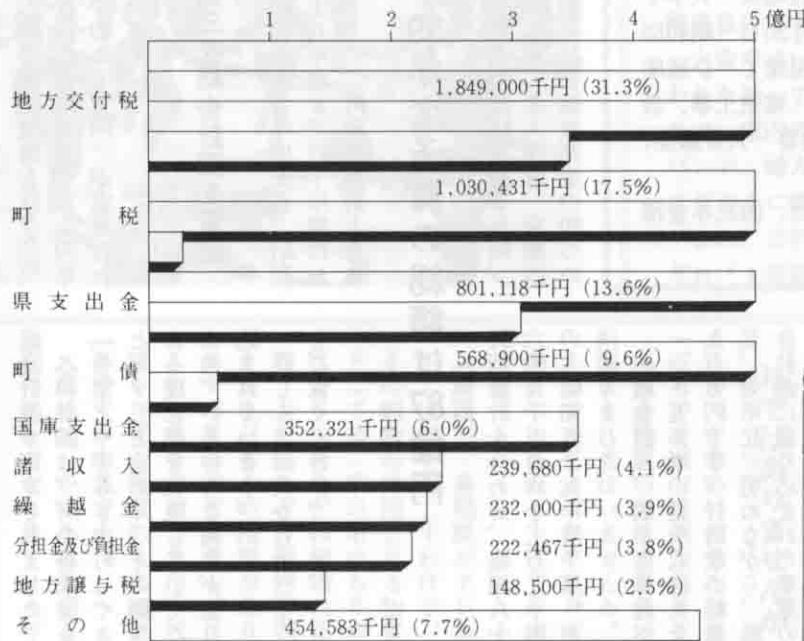
昭和五十九年度の町各会計予算が、三月十二日から開かれた、町議会第一回定期会で決まりました。ここでは、一般会計を中心に、これから一年間、町の台所がどのように賄われていくのか、グラフを使って紹介します。

一般会計は11.5%増

一般会計予算の総額は、五十八億九千九百万円で、昨年の当初予算に比べ、一一・五%の伸びとなっています。

歳入（収入）の内容を見ると、皆さんから納めていただくなっています。

一般会計歳入 58億9,900万円



特別会計予算

27億9,663万9千円

菊地四郎顕彰社会福祉基金
一〇八万五千円

老人保健

七億三、〇七四万四千円
六億八、〇六九万九千円

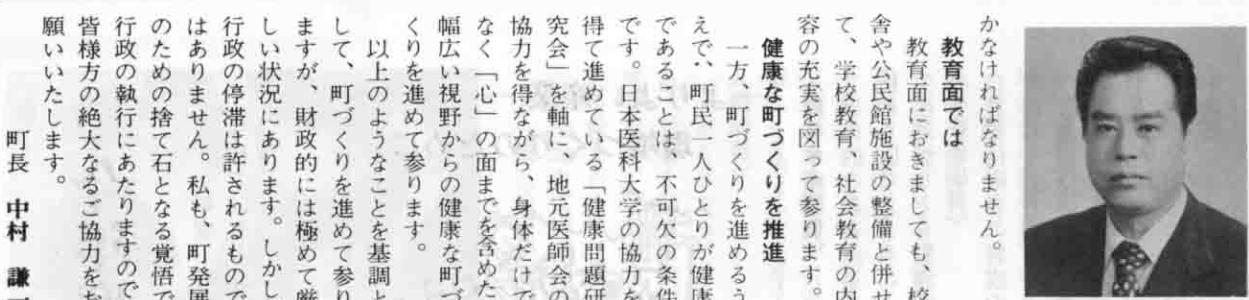
簡易水道

国民健康保険

一三億八、四一二万一千円

町税の内訳





かなければなりません。

教育面では

教育面におきましても、校舎や公民館施設の整備と併せて、学校教育、社会教育の内容の充実を図つて参ります。

健 康 な 町 づ く り を 推 進

一方、町づくりを進めるうえで、町民一人ひとりが健康であることは、不可欠の条件です。日本医科大学の協力を得て進めている「健康問題研究会」を軸に、地元医師会の協力を得ながら、身体だけなく「心」の面まで含めた、幅広い視野からの健康な町づくりを進めて参ります。

以上のこととを基調として、町づくりを進めて参りますが、財政的には極めて厳しい状況にあります。しかし、行政の停滞は許されるものではありません。私も、町発展のための捨て石となる覚悟で行政の執行にあたりますので、皆様方の絶大なるご協力をお願いいたします。

町長 中村 謙一

町税1人あたりの負担額

10億3,043万1千円

町 民 税	15,347円
固定資産税	14,270円
町たばこ消費税	3,001円
電 気 税	1,976円
そ の 他	973円

人口 28,972 (4月1日現在)

一般会計予算1人あたりの内訳

58億9,900万円

歳 入

地方交付税	63,820円
町 税	35,566円
県 支 出 金	27,651円
町 債	19,636円
国庫支出金	12,161円
諸 収 入	8,273円
繰 越 金	8,008円
分担金及び負担金	7,678円
地方譲与税	5,126円
そ の 他	15,690円

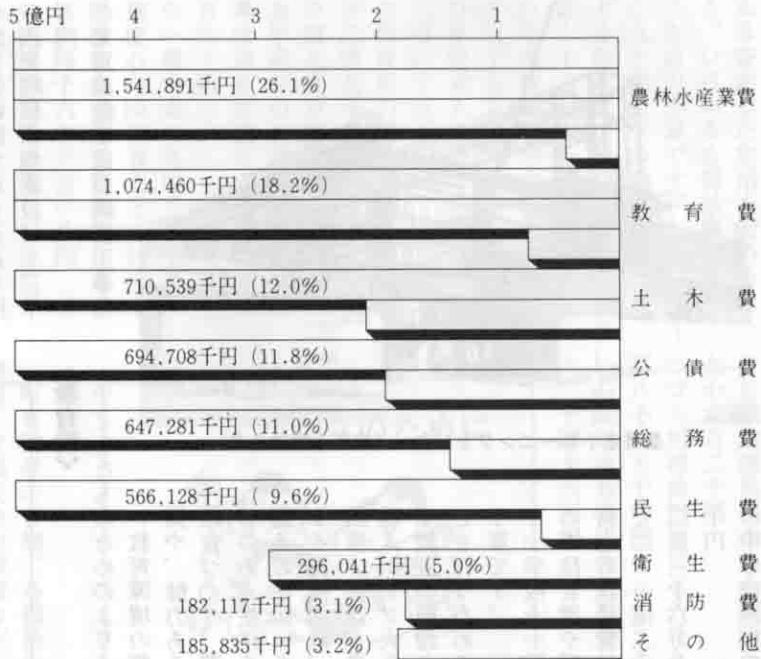
歳 出

農林水産業費	53,220円
教 育 費	37,086円
土 木 費	24,525円
公 債 務 費	23,979円
総 民 生 費	22,342円
衛 生 費	19,541円
消 防 費	10,218円
そ の 他	6,286円
	6,414円

費が二六・一%と、近年には高い率を占めています。これは、農林業を取り巻く厳しい環境の中で、生産性を高め、所得の向上をめざしていくため、町がいろいろな振興事業に取り組んでいるためです。また、町がこれまでに借り入れたお金(町債)を、返済するための費用(公債費)が、土木費とほぼ同率の一・八%となりました。町債の残額は、昭和五十八年度末で約五十一億円(簡易水道債を除く)となっています。

なお、特別会計予算是、国民健康保険、簡易水道、老人保健、菊地四郎顕彰社会福祉基金を合わせて、二十七億九千六百六十三万九千円です。

一般会計歳出 58億9,900万円



性質別歳出



今年度の主な事業

今年度、町では、次のような事業が予定されています。

よりよい産業

環境づくりのために

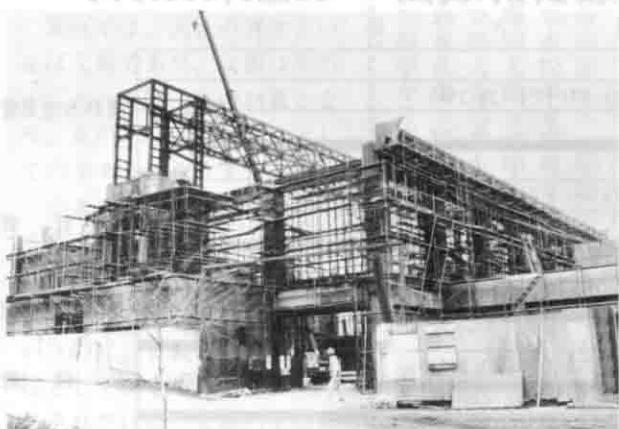


◇農林水産業費◇

- 近代的な農畜産業や林業の振興を図るとともに、生活、生産基盤などを整備するための予算です。
- 農業後継者の育成のために百六十五万円
- 農業近代化施設整備事業（地域改善対策事業）に二億五千万円
- カメ虫防除のための薬剤空千散布に三百万元
- 道路台帳の整備に五千万円
- 農業者トレーニングセンター建設事業に一千二百万円
- フラワーパーク開園準備のために三千二百十九万円
- 林道（小山田線、十三塚線、弓弦線、団子石線）の開設と舗装に七千八百七十万円

◇商工費◇

- 農業者トレーニングセンターア建設事業に一億九千五百八万六千円
- 太田、大増地区農村基盤総合整備事業（農道やほ場整備）に五千四百四十四万円
- 集落センターの建設など、園部西部地区地区再編事業に四千百六十六万円
- 農産物出荷貯蔵庫等設置のために三千六百万円
- 団体営農地開発整備事業（草地、飼料畑の造成）に一千四百万円
- 東筑波遊歩道の開設工事に四百六十万円
- 自治金融の預託金や利子補給金に六百四十一万円
- 商工会補助金に五百万円
- 西光院駐車場建設に三千四百四十万円
- 東筑波遊歩道の開設工事に四百四十万円
- 児童館の管理運営に七千五百九十八万二千円
- 公民館図書の管理運営に万四千円
- 八重地区農村集落センター建設事業に八千四百万円
- 学校建設事業（小幡小学校校舎、芦穂小学校屋内運動場の建設）に三億六千五百八



農業者トレーニングセンター（完成予定は8月）

すぐれた

人づくりのために



◇教育費◇

- 子どもたちのためのよりよい教育環境の整備や、魅力ある給食づくり、潤いのある生活をする各種学級、講座の開設、各種スポーツ大会や教室の開設などをを行うための予算です。
- 小学校十一校の維持管理や運営上の諸経費などに一億二千二百万円
- 道路台帳の整備に七千五百二十万円
- 道路台帳の整備に五千六万円
- 中学校四校の維持管理や運営上の諸経費などに二百三十六万七千元
- 小学校十一校の維持管理や運営上の諸経費などに二百三十六万七千元
- 地籍調査（中戸全域と太田、小塙地区の一部）に一千八百九十万八千円
- ビニールハウス設置の補助に二百二十五万円
- よりよい学校給食のために二億五千二百四十四万一千円
- 公民館図書の管理運営に万四千円
- 小桜地区公民館建設事業に七千五百九十八万二千円
- 学校建設事業（小幡小学校校舎、芦穂小学校屋内運動場の建設）に三億六千五百八

快適で安全な

暮らしのために



◇土木費◇

- 生活の基盤である道路（町道）の整備などをを行うための予算です。
- 道路の舗装破損箇所の補修や維持管理に七千五百二十万円
- 道路台帳の整備に五千五万円

円

○道路の新設、改良、舗装、

排水整備工事に \parallel 三億九千九

百二十四万六千円

○住宅新築資金貸付事業（地

域改善対策事業）に \parallel 八千二

十万円

△災害復旧費

台風などによって発生した

災害の復旧工事を行うための

予算です。

○公共土木施設の災害復旧工

事に \parallel 五百二十三万二千円

△消防費

災害などから、私たちの生

命、財産を守る常備消防、非

常備消防、消防施設の整備な

どを行うための予算です。

○新治地方広域消防の負担金

に \parallel 一億三千百十八万五千円

○町消防団員の報酬や出動手

當に \parallel 一千一万六千円

○防火水槽工事、消防施設工

事、消火栓施設工事等に \parallel 一

千八十七万円

△住宅新築資金貸付事業（地

域改善対策事業）に \parallel 八千二

十万円

ある安定した生活を営めるよ

う、いろいろな福祉事業を行

うための予算です。

○八十歳以上のお年寄りに対

する敬老祝金や記念品に \parallel 五

百六十二万五千円

○老人保健特別会計のために

\parallel 三千五百万円

○単位老人クラブの助成に \parallel

二百六十五万円

○保育所の維持管理と運営に \parallel

二億九千八百五十万九千円

○寝たきり者や一人暮らしの

お年寄りのお世話をする家庭

奉仕員の派遣に \parallel 四百五十二

万六千円

○一歳未満の乳児や母子家庭、

重度心身障害者などに対する

医療費の全額公費負担のため

に \parallel 四千六十二万一千円

○高額療養費の貸し付けに \parallel

一千万円

△衛生費

健康で快適な生活が営める

よう、各種の検診や予防接種、

ゴミ処理などを行うための予

算です。

○胃や婦人科検診などの各種

検診に \parallel 二千三十七万円

○各種予防接種の医薬材料代

に \parallel 四百八十三万四千円

○石岡地方保健センター建設の負担金に \parallel 六百五十一万三千円

○し尿処理負担金に \parallel 四千百七十六万二千円

○ゴミ処理負担金に \parallel 八千九百八十八万七千円

○石岡地方斎場組合負担金に \parallel 一千四十八万円

完成も間近い小幡小新校舎

○町税の納期前納付、納税組合奨励金に \parallel 一千五百三十八

万一千円などが主なもので

す。

このほか、各特別会計を見ると、国民健康保険では、皆さんが医者にかかったときなど支払いに九億九千三百七十六万四千円。老人保健では、七十歳以上のお年寄りなどの、医療費の給付に六億七千七百六十二万二千円。簡易水道工事に五億六千百三十七万四千円。菊地四郎顕彰社会福祉基金では、顕彰や表彰、寝たきり者や重度心身障害児の見舞金に九十四万一千円などが主なもので



1歳児検診。各種の検診等を行います

健康で幸せな暮らしのために



△民生費

町民だれもが、生きがいの

明るい社会づくりのために



△総務費

町有財産の管理、各種統計調査、交通安全対策費など、主に経常的な経費のための予算です。

○町合併三十周年記念事業のため \parallel 三百六十万円

○町勢要覧発行（三十周年記念）に \parallel 四百八十七万五千円

○ガードレール、カーブミラーの整備に \parallel 一百十七万円

○私有地の借上に \parallel 一千九百四十四万五千円

○町税の納期前納付、納税組合奨励金に \parallel 一千五百三十八



町総合計画 基本構想の概要

希望とやすらぎのまち

○筑波山系を中心とする山林地帯は、観光面での活用を図りながら、自然保護を強化し、これらにつながる優良農地の確保も行います。

○企業誘致は、柿岡地区周辺を中心として進めるほか、北部地区の振興策としても、自然保護を考えながら開発を進めます。

（道路の整備）
大規模農道の朝日峠のトンネル化、常磐自動車道岩間インターチェンジ

豊かな自然環境の中で、健康で文化的な生活を営み、環境と心のふれあいを強めながら、あすに向かって力強く前進する理想郷「希望とやすらぎのまち『やさとピア』」の建設が、町づくりの目標です。そのためには、各種施設や環境の整備充実をはじめ、心

（土地利用）
限られた資源の土地を有効に利用して、豊かな自然環境を守りながら、社会的、経済的、文化的な均衡のとれた発展をめざします。

○筑波山系を中心とする山

林地帯は、観光面での活用を図りながら、自然保護を強化し、これらにつながる優良農地の確保も行います。

○企業誘致は、柿岡地区周辺を中心として進めるほか、北部地区の振興策としても、自然保護を考えながら開発を進めます。

（水利用）
生活用水、農業用水をはじめ、企業誘致などにも対応できる、安定した水の供給をめざします。

町のいろいろな施策を総合的に計画的に進めるための指針となる「第三次八郷町総合計画」が、三月に開かれた町議会定例会で可決されました。

町総合計画は、基本構想、基本像を「希望とやすらぎのまち『やさとピア』」と定め、その将来像を達成するために必要な基本的施策を表わした、「基本構想」の概要をお知らせします。

町づくりの目標

豊かな人づくりも、重要な課題となります。これらに向かって、すべての町民の合意と

限りなく発展するための基盤づくり

II 基礎基盤の整備 II

（土地利用）

既存の集落の整備とともに、柿岡商業地域周辺、園部、

林地区を優良住宅地として、適正な開発を進めます。

（水利用）

既存の国有林の払い下げを受け、森林公園、研修施設、観光施設などとして活用を図ります。

（道路の整備）

生活用水、農業用水をはじめ、企業誘致などにも対応できる、安定した水の供給をめざします。

参加を得ながら、効率的、計画的に事業を選択し、推進していくきます。



ンターとの連絡道の整備を中心、フランク・パークを基点とする観光道路の整備を、国県などと連絡を図りながら進めます。また、「希望とやすらぎのまち『やまとビア』」のイメージアップのため、幹線道路への樹木の植栽や愛称の設定にも留意します。

美しく住みよいまちづくり

〈生活環境の整備〉

良好な住宅環境を確保するため、宅地開発などについて、適切な指導を行います。また、快適な日常生活を営むための防犯体制の強化、ゴミの収集と処理機能の充実を図るほか、清潔な墓地環境の整備をめざし、火葬の普及を図ります。

○自然保護と緑化
○豊かな自然を保護しながら、林道や遊歩道を整備して、人と自然のふれあいの場を充実させます。

○自然保護意識の高揚を図るため、町内に生息、生育する動植物の調査分類を進め、これに基づいた「緑のパンフレット」を作成配布します。

○「町木」「町花」を制定し、各家庭への植栽指導や公共施設、商店街、工場等の緑化を推進します。

○総合的防災体制の確立
○治山治水対策、消防力の整

ぎのまち『やまとビア』のイメージアップのため、幹線道路への樹木の植栽や愛称の設定にも留意します。

想の普及に努めます。

〈上下水道事業の推進〉

生活用水の安定供給のため、簡易水道の着実な推進と、上水道への移行を進めます。また、生活雑排水の処理については、農村集落や商店街、住宅など、それぞれの立地条件に合った整備を図ります。

○畜産公害対策として、畜産

団地の造成、汚水処理施設、家畜し尿有効利用などの事業を進めます。また、企業による産業公害等についても、適切な規制と指導を行い、未然防止に努めます。

〈消費者保護〉

消費者の利益と安全を確保するための情報収集や情報提供、消費者団体の育成強化に努めます。

|| 生活環境の整備 ||

〈交通安全対策〉

通学道路の歩道整備を計画的に進めるとともに、交通秩序の確立のため、交通安全思

いだわりと思いやりのあるまちづくり

|| 健康と福祉の向上 ||

〈保健医療体制の強化〉

○成人病の予防のため、疾病の早期発見、早期治療をはじめ運動、栄養、休養のバラ

ンスのとれた健康増進施策を推進します。

○交通事故等の負傷者や内科系急患の早期治療のため、医師会の協力を得て、新たな医療体制を検討するとともに、急救指定病院の確保を図ります。

○日本医科大学の協力を得て進めている「町健康問題研究会」を軸に、福祉行政との

関連性を含めた健康センターの設立など、総合的な健康づくり計画を樹立します。

〈社会福祉の充実〉

○高齢化社会をひかえ、受

身の保護対策から社会活動への参加など、お年寄りの「生きがい対策」を、積極的に推進します。

○心身障害者の社会復帰を図るため、広域行政の中で、リハビリセンターの建設等の検討を進めます。また、機能回復に必要な器具の貸与助成を行うとともに、保健婦やホーリーヘルパーの派遣など、きめ細かな施策を進めます。

○生活保護については、社会経済情勢に対応した経済的援助の適正化と、積極的な手助けや指導を推進します。

○保育行政については、保育時間の延長、乳児保育の対象拡大など、内容の充実を図ります。

文化を重んじ創造性をはぐくむまちづくり

|| 教育文化の振興 ||

「希望とやすらぎのまち『やまとビア』」の建設のためには、人間性豊かな人づくり。が、すべての施策の基礎的条件と

なります。そのため、生涯を幼児期、青少年期、成人期、老人期に分け、家庭教育、学校教育、社会教育をそれぞれ



人間性豊かな人づくりを進めます

の時期にあてはめて、自ら学ぶ生涯教育を展開します。

○幼児教育については、知

育だけでなく、しつけ教育や情操など、豊かな人間性と創

造性の開発に重点をおきます。

○義務教育では、調和の人間教育を基本として、

次代を担う健康で教養のある人づくりを図るとともに、教

育施設の整備を進めます。

○社会教育については、自

主的学習活動に対する動機づ

調和のとれた豊かなまちづくり

〈農業の振興〉

○安定作物である稻作を中心、果樹、花き園芸、畜産などの振興を図りながら、新しい特産物をつくりだすよう努めます。

○集出荷、加工、販売などに必要な近代的施設の整備を進めるとともに、生産組織の強化を図ります。

○観光レクリエーションに

対応した観光果樹、貸農園など、町の特性を生かした農業への転換を、適切に指導奨励します。

○林業の振興

林業の活性化を図るために、林業の整備を行なうとともに、植林や管理の手助けを行います。また、林産物の加工製品の研究開発や、観光レクリエーション開発との結合などを、

○公益的機能を保ちながら進めます。なお、これらの事業の推進のため、森林組合の組織強化と協調体制の確立をめざします。

○工業開発

兼業農家の増加が見込まれることもあり、安定した農外収入を得る雇用の場の確保として、積極的に企業の誘致を図ります。また、既存の小規模企業については、創意工夫

林道の整備を行うとともに、植林や管理の手助けを行います。また、林産物の加工製品の研究開発や、観光レクリエーション開発との結合などを、

○公益的機能を保ちながら進めながら、特色ある開発を進めます。

○商業、サービス業の振興

余裕ある駐車場の確保、遊歩道の設置、需要に応えられる豊富な商品の確保などを中心

いろいろな文化遺産の保護育成と活用を図ると同時に、町民自らがつくり出す新しい文化の創造をめざします。

○新しい時代に対応する、国際的視野にたたた人づくりのため、国際姉妹都市の提携などを中心とした、国際交流の場をめざしていきます。

○豊かな自然の保護と大都市部との交流を深めながら、国有地の有効利用を図るため、森林公園とこれに関連した森林都市の建設を進めます。

○フラワーパークや峰寺山を中心とする観光ルートを確立し、文化財や農林業との連携を強めながら、特色ある開発を進めます。

○筑波山、霞ヶ浦、笠間、学園都市など、周辺の観光地を結ぶ広域的な観光コースの設定や道路の整備を進めます。



急ピッチで工事が進められているフラワーパーク

け、援助を行なうことを基本に、民間指導者の育成を図るなど、条件整備を進めます。

○長い歴史の中で残された、いろいろな文化遺産の保護育成と活用を図ると同時に、町民自らがつくり出す新しい文化の創造をめざします。

○新しい時代に対応する、国際的視野にたたた人づくりのため、国際姉妹都市の提携などを中心とした、国際交流の場をめざしていきます。

○豊かな自然の保護と大都市部との交流を深めながら、国有地の有効利用を図るため、森林公園とこれに関連した森林都市の建設を進めます。

○筑波山、霞ヶ浦、笠間、学園都市など、周辺の観光地を結ぶ広域的な観光コースの設定や道路の整備を進めます。

○町民参加による行政の推進

総合計画の推進にあたっては、行政側の一方的な施策だけではなく、眞に町民のものとして実現できるよう、自覚と責任をもつた町民参加を進めます。そのため、現在実施している「みんなの声を聞く日」を充実させ、対話集会等も開くなど、積極的に町民参加の機会をつくります。

○行政の機能分担の明確化や連携体制の強化など、幹部管理体制の確立を図り、常に町長のリーダーシップが發揮できるようにします。

○行政能率の向上のため、民間の経営方式を取り入れるとともに、増大する事務量に応じて、機械化、委託処理などを推進します。

○計画実現のために、将来にわたって膨大な財源が必要ですが、町の財政も厳しい状況が続くものと予想されます。そのため、行政の近代化や能率化とともに、適切な事業の選択に努めます。また、国や県などの事業計画との整合性を図りながら、長期にわたり財政需要と収入の動向を見きわめつつ、事業を推進し

合理的、計画的なまちづくり

|| 町民参加と行財政の確立 ||

に、商店、商工会、町が一体となつた施策を進めます。

また、町の実態を町民に知らせ、理解と協力を求めるため、的確な情報の提供や資料の公開などを行なうとともに、情報収集機能の強化を図ります。

○町民参加による行政の推進

総合計画の推進にあたっては、行政側の一方的な施策だけではなく、眞に町民のものとして実現できるよう、自覚と責任をもつた町民参加を進めます。そのため、現在実施している「みんなの声を聞く日」を充実させ、対話集会等も開くなど、積極的に町民参加の機会をつくります。

○行政の機能分担の明確化や連携体制の強化など、幹部管理体制の確立を図り、常に町長のリーダーシップが発揮できるようにします。

○行政能率の向上のため、民間の経営方式を取り入れるとともに、増大する事務量に応じて、機械化、委託処理などを推進します。

○計画実現のために、将来にわたって膨大な財源が必要ですが、町の財政も厳しい状況が続くものと予想されます。そのため、行政の近代化や能率化とともに、適切な事業の選択に努めます。また、国や県などの事業計画との整合性を図りながら、長期にわたり財政需要と収入の動向を見きわめつつ、事業を推進し

ます。

職員の異動

() 内は旧職名
 ◎配置換 (四月一日付)
 ○総務課 □課長 (経済課長)
 川俣忠 □主幹 (福祉課主幹)
 小松崎安代
 ○秘書広報課 □秘書広報係
 長 (主事) 鈴木隆 □主事 (総務課主事) 千葉庸子
 ○企画調整課 □主査兼課長
 補佐兼企画調整係長 (課長補佐) 兼統計係長 (山中幸三) □
 佐兼統計係長 (登記課主事) 杉山匡
 ○開発課 □課長 (課長兼自然休養村センター所長) 峯政雄
 □主事 (社会教育課主事) 小林一喜
 ○自然休養村センター □所長 (主査兼建設課長) 佐兼監理係長 (前島昭一) □主幹 (経済課主幹) 荒井利枝
 ○フローバーパーク開園準備室 □室長 (県職員) 井形三郎
 ○室長補佐 (企画調整課企画課長) 海東慎行 □開園準備係長 (開発課主幹) 坂入寛治
 ○住民課 □主事 (税務課主事) 宮窪茂雄 □主事 (林学校務員) 真家忠
 ○保母 (芦穂保育所主幹兼保母) 菊田富子 □主査兼主任保母 (芦穂保育所主査兼主任保母) 上林充代
 ○国保年金課 □主査兼課長 (主査) 岩野臣子 □主幹 (住民課主幹) 鈴木美津子
 ○税務課 □賦課第一係長 (学校教育課学校教育係長) 鈴木宏武 □主幹 (住民課主幹) 小野瀬和子 □主幹 (自然休養村センター主幹) 相沢きみ子
 ○経済課 □課長 (建設課長) 鈴木竹義 □林務係長 (主幹) 岡野賀之 □畜産係長 (主幹) 杉田吉行 □主事 (登記課主事) 宇田はづ子 □主事 (国保年金課主事) 武俊彦夫
 ○土地改良課 □主事 (税務課主事) 吉田敏一
 ○林保育所 □所長 (主査兼保育所主幹) 上田雅子
 ○園部保育所 □保母 (小幡保育所保母) 清水範子
 ○瓦会保育所 □主幹 (芦穂保育所主幹) 西村幸徳
 ○農業委員会事務局 □係長 (経済課畜産係長) 西村幸徳 (派遣) 県衛生部水道計画課 (国保年金課主事) 栗崎孝夫 (新採) □経済課主事補
 鶴井重則 □建設課主事補 鈴木仁 □水道課主事補 萩原勇
 ○小桜保育所 □主査兼主任保母 (小桜保育所主査兼主任保母) 高橋道子 □主幹 (瓦会保育所主幹) 千葉初子
 ○柿岡保育所 □所長兼瓦会保育所長 (林保育所長兼瓦会保育所長) 稲野辺啓次 □主査兼主任保母 (林保育所主査兼主任保母) 菊田富子 □主査兼主任保母 (芦穂保育所主査兼主任保母) 上林充代
 ○建設課 □課長 (学校教育課主査) 岩野臣子 □主幹 (芦穂保育所主幹兼総務係長) 朝日美江 □主事 (林保育所主事) 濑岡敏子
 ○芦穂保育所 □主幹兼主任保母 (小幡保育所主幹兼保母) 西村のり子 □主幹兼主任保母 (恋瀬保育所主幹兼保母) 藤岡茂子 □主事 (小桜保育所主事) 海老沢菊枝
 ○恋瀬保育所 □保母 (園部保育所保母) 稲見弘子 □保母 (柿岡保育所保母) 川井厚子
 ○議会事務局 □係長 (経済課主事) 大塚美恵子
 ○農業委員会事務局 □係長 (建設課主幹) 寺田隆一
 ○派遣 (県衛生部水道計画課) (国保年金課主事) 栗崎孝夫 (新採) □経済課主事補
 鶴井重則 □建設課主事補 鈴木仁 □水道課主事補 萩原勇
 ○根本俊 (総務課長) □鈴木清之 (柿岡保育所長)

事) 坂本けい子 □主事補 (総務課主事補) 浅野美江子
 ○国保年金課 □主査兼課長 (主査) 岩野臣子
 補佐兼国民年金係長 (議会事務局主査) 友部吉男
 ○主査 (総務課主査) 岩野臣子 □主幹 (住民課主幹) 鈴木美津子
 ○税務課 □賦課第一係長 (学校教育課学校教育係長) 鈴木宏武 □主幹 (住民課主幹) 小野瀬和子 □主幹 (自然休養村センター主幹) 相沢きみ子
 ○経済課 □課長 (建設課長) 鈴木竹義 □林務係長 (主幹) 岡野賀之 □畜産係長 (主幹) 杉田吉行 □主事 (登記課主事) 宇田はづ子 □主事 (国保年金課主事) 武俊彦夫
 ○土地改良課 □主事 (税務課主事) 吉田敏一
 ○林保育所 □所長 (主査兼保育所主幹) 上田雅子
 ○園部保育所 □保母 (小幡保育所保母) 清水範子
 ○瓦会保育所 □主幹 (芦穂保育所主幹) 西村幸徳
 ○農業委員会事務局 □係長 (経済課畜産係長) 西村幸徳 (派遣) 県衛生部水道計画課 (国保年金課主事) 栗崎孝夫 (新採) □経済課主事補
 鶴井重則 □建設課主事補 鈴木仁 □水道課主事補 萩原勇
 ○根本俊 (総務課長) □鈴木清之 (柿岡保育所長)

保母) 足立昌代
 ○小幡保育所 □主幹兼主任保母 (柿岡保育所主幹兼保母) 上林充代 □主幹兼主任保母 (恋瀬保育所主幹兼保母) 西村のり子 □主幹兼主任保母 (恋瀬保育所主幹兼保母) 藤岡茂子 □主事 (小桜保育所主事) 海老沢菊枝
 ○芦穂保育所 □主幹兼主任保母 (小幡保育所主幹兼保母) 西村のり子 □主幹兼主任保母 (恋瀬保育所主幹兼保母) 藤岡茂子 □主事 (小桜保育所主事) 海老沢菊枝
 ○恋瀬保育所 □保母 (園部保育所保母) 稲見弘子 □保母 (柿岡保育所保母) 川井厚子
 ○議会事務局 □係長 (経済課主事) 大塚美恵子
 ○農業委員会事務局 □係長 (建設課主幹) 寺田隆一
 ○派遣 (県衛生部水道計画課) (国保年金課主事) 栗崎孝夫 (新採) □経済課主事補
 鶴井重則 □建設課主事補 鈴木仁 □水道課主事補 萩原勇
 ○根本俊 (総務課長) □鈴木清之 (柿岡保育所長)

長 (経済課林務係長) 高橋進
 □主事 (秘書広報課主事) 島田美智男
 ○水道課 □工務係長 (建設課主幹) 中泉森男 □施設管理係長 (工務係長) 立田光一
 ○教育委員会 (学校教育課) □課長補佐兼総務係長 (秘書広報課秘書広報係長) 桜井藤雄 □学校教育係長 (税務課賦課第一係長) 小松崎芳夫
 ○議会事務局 □校務員 (大林小学校) □校務員 (大増小学校校務員) 村田さち江
 ○社会教育課 □主幹 (国保年金課主幹) 大塚美恵子
 ○主事 (土地改良課主事) 岡野孝男
 ○議会事務局 □係長 (経済課畜産係長) 西村幸徳
 ○農業委員会事務局 □係長 (建設課主幹) 寺田隆一
 ○派遣 (県衛生部水道計画課) (国保年金課主事) 栗崎孝夫 (新採) □経済課主事補
 鶴井重則 □建設課主事補 鈴木仁 □水道課主事補 萩原勇
 ○根本俊 (総務課長) □鈴木清之 (柿岡保育所長)



ハツバ

新学期を迎えた運動部では、練習する部員に対して、コーキーがきちんと「ハツバをかけられることで」でしょう。新入りの学生マネージャーが、売り上げを伸ばせと、上司から「ハツバをかけられる」シーズンでもあります。

この「ハツバ」は、漢字で書くと「発破」。鉱山や工事現場などで、爆薬を使って爆破する作業をいいます。「発破」をかける」は爆破させるの意味で、転じて、激しい語氣で気合いを入れる場合の表現になりました。

「発破」は、岩石爆破とも呼ばれるよう、炭鉱、探石、土木工事などで、主に岩石を対象とするときに使われます。

爆薬はダイナマイトが多いことから、「ハツバ」はダイナマイトの隠語としても用いられます。

現在のように、督励することを「ハツバをかける」と言いうようになったのは、昭和に入つてからのようです。

長 (経済課林務係長) 高橋進
 □主事 (秘書広報課主事) 島田美智男
 ○水道課 □工務係長 (建設課主幹) 中泉森男 □施設管理係長 (工務係長) 立田光一
 ○教育委員会 (学校教育課) □課長補佐兼総務係長 (秘書広報課秘書広報係長) 桜井藤雄 □学校教育係長 (税務課賦課第一係長) 小松崎芳夫
 ○議会事務局 □校務員 (大林小学校) □校務員 (大増小学校校務員) 村田さち江
 ○社会教育課 □主幹 (国保年金課主幹) 大塚美恵子
 ○主事 (土地改良課主事) 岡野孝男
 ○議会事務局 □係長 (経済課畜産係長) 西村幸徳
 ○農業委員会事務局 □係長 (建設課主幹) 寺田隆一
 ○派遣 (県衛生部水道計画課) (国保年金課主事) 栗崎孝夫 (新採) □経済課主事補
 鶴井重則 □建設課主事補 鈴木仁 □水道課主事補 萩原勇
 ○根本俊 (総務課長) □鈴木清之 (柿岡保育所長)

この「ハツバ」は、漢字で書くと「発破」。鉱山や工事現場などで、爆薬を使って爆破する作業をいいます。「発破」をかける」は爆破させるの意味で、転じて、激しい語氣で気合いを入れる場合の表現になりました。

「発破」は、岩石爆破とも呼ばれるよう、炭鉱、探石、土木工事などで、主に岩石を対象とするときに使われます。爆薬はダイナマイトが多いことから、「ハツバ」はダイナマイトの隠語としても用いられます。

現在のように、督励することを「ハツバをかける」と言いうようになったのは、昭和に入つてからのようです。

長 (経済課林務係長) 高橋進
 □主事 (秘書広報課主事) 島田美智男
 ○水道課 □工務係長 (建設課主幹) 中泉森男 □施設管理係長 (工務係長) 立田光一
 ○教育委員会 (学校教育課) □課長補佐兼総務係長 (秘書広報課秘書広報係長) 桜井藤雄 □学校教育係長 (税務課賦課第一係長) 小松崎芳夫
 ○議会事務局 □校務員 (大林小学校) □校務員 (大増小学校校務員) 村田さち江
 ○社会教育課 □主幹 (国保年金課主幹) 大塚美恵子
 ○主事 (土地改良課主事) 岡野孝男
 ○議会事務局 □係長 (経済課畜産係長) 西村幸徳
 ○農業委員会事務局 □係長 (建設課主幹) 寺田隆一
 ○派遣 (県衛生部水道計画課) (国保年金課主事) 栗崎孝夫 (新採) □経済課主事補
 鶴井重則 □建設課主事補 鈴木仁 □水道課主事補 萩原勇
 ○根本俊 (総務課長) □鈴木清之 (柿岡保育所長)

この「ハツバ」は、漢字で書くと「発破」。鉱山や工事現場などで、爆薬を使って爆破する作業をいいます。「発破」をかける」は爆破させるの意味で、転じて、激しい語氣で気合いを入れる場合の表現になりました。

「発破」は、岩石爆破とも呼ばれるよう、炭鉱、探石、土木工事などで、主に岩石を対象とするときに使われます。爆薬はダイナマイトが多いことから、「ハツバ」はダイナマイトの隠語としても用いられます。

現在のように、督励することを「ハツバをかける」と言いうようになったのは、昭和に入つてからのようです。

婦人教育、家庭教育研究発表会

一年間の学習の成果を発表



学習の成果を発表する生活改善グループの飯島さん

みんぐんくらぶ

昭和五十八年
年度の婦人教育、家庭教育
研究発表会が、
三月十一日、
中央公民館で
開かれました。

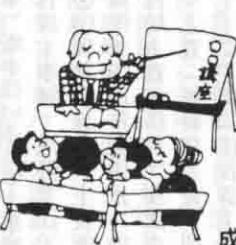
この発表会は、町の各種
学級、講座、サークルなどで
開催されました。今年は、十六の学級、講座、
グループなどからの発表があり、参加したお母さん方は熱
心に耳を傾けていました。プログラムは次のとおりです。

▽私は弱虫だらうか 大和田
恵美（オアシス運動入選作品）
▽寒い日のストーブ 大関きよ
よ（町婦人会）▽私たちの家庭
教育学級の歩み 大槻洋子
（園部中家庭教育学級）▽婦
人学級を終了して 以後崎喜
代（柴内婦人学級）▽食生活

▽減塩食 川井ふみ（食生活改
善推進委員会）▽我が家にお
ける家庭教育 谷島弘子（有
明中家庭教育学級）▽婦人学
級に学んで 友部ゆき江（恋
瀬婦人学級）▽梨農家の生活
改善グループによる健康づく
り 飯島松子（生活改善グル
ープ）▽県北の史跡を訪ねて
谷田部しん（柿岡婦人学級）
▽本校の家庭教育学級から
藤田光男（南中家庭教育学級）
▽婦人会活動をふりかえって
は、桜井源五左エ門、鈴木豊、
西宮一男、一色史彦、田上静
子の五氏が委嘱されました。
地区公民館長と公民館運営

の活動をより活発にし、婦人
教育、家庭教育の充実に役立
てようと、毎年開かれている
ものです。

今年は、十六の学級、講座、
グループなどからの発表があり、
参加したお母さん方は熱
心に耳を傾けていました。普
段より、参加したお母さん方は熟
練度が高く、発表する場を



紙上講座

成人教育 ⑤

父親の役割—3—

家庭では、大人の男性といえば父親であり、父親は男の子にとって同一化の対象となり、女の子にとって異性としてのモデルになります。

小さい男の子が、父親のすることを何でもまねしたがり、女の子が「大きくなったらお父さんのお嫁さんになる」というのは、父親が典型的な男性として映るからです。

それだけに、父親の生活態度や人間関係の持ち方が、子供の個性、人格の形成に決定的な影響を与えます。

しかし、その影響も、子供の成長に伴って少しずつ薄れます。特に思春期には、理想が高くなり、父親をあこがれとしてではなく、一個人として見つめるようになって、ごまかしがきかなくなります。

モデルの男性としての役割を果たすには、弱点まで含めた包み隠さない人間をさらけだす勇気と、父と子の「本音」のぶつかり合いが必要です。

一指導 近藤修派遺社教主事

▽小山満江（林婦人学級）
▽七宝焼との出会い 桜井ひさ（七宝焼講座）▽我が家のお
減塩食 川井ふみ（食生活改
善推進委員会）▽わが家にお
ける家庭教育 谷島弘子（有
明中家庭教育学級）▽婦人学
級に学んで 友部ゆき江（恋
瀬婦人学級）▽梨農家の生活
改善グループによる健康づく
り 飯島松子（生活改善グル
ープ）▽県北の史跡を訪ねて
谷田部しん（柿岡婦人学級）
▽本校の家庭教育学級から
藤田光男（南中家庭教育学級）
▽婦人会活動をふりかえって
は、桜井源五左エ門、鈴木豊、
西宮一男、一色史彦、田上静
子の五氏が委嘱されました。
地区公民館長と公民館運営

▽芦穂 藤代克 ▽恋瀬 友
▽小幡 広瀬豊 ▽吉田仁
▽大森喜四郎 ▽橋本定助
▽吉川徹 ▽飯島照雄 ▽土田健一
▽上野久夫 ▽鈴木昭三 ▽塙畑育男
▽鈴木昭三 ▽吉川浩一 ▽廣瀬つね
▽土田健一 ▽西宮一男 ▽中島仁平
▽浅野光一 ▽大庭健一 ▽岡一衛
▽佐々木明 ▽桜井敏雄 ▽綿引東
▽杉山ハツ ▽佐藤良輔

△東京放送アナウンス部長、
芝間八重子（くらしの会）
強して、芝間八重子（くらしの会）
は聞き上手があり、参加者

は聞き上手があり、参加者
全員が深い感銘を受け、有意

地区公民館長や公民館運営審議会委員など決まる

△柿岡 江畠徳治
△小幡 広瀬豊

△このほど、任期満了に伴い、
地区公民館長や公民館運営審
議会委員（社教委員兼任）な
どが、教育委員会から新たに

任命されました。

△この方々は、これから二年
間にわたって、社会教育のか
なめとして教育行政に携わり、
その活躍が期待されます。

△なお、文化財審議会委員に
は、桜井源五左エ門、鈴木豊、
西宮一男、一色史彦、田上静
子の五氏が委嘱されました。

△地区公民館長と公民館運営
審議会委員は、次の方々です。

△芦穂 藤代克 ▽恋瀬 友
▽小幡 広瀬豊 ▽吉田仁
▽大森喜四郎 ▽橋本定助
▽吉川徹 ▽飯島照雄 ▽土田健一
▽上野久夫 ▽鈴木昭三 ▽塙畑育男
▽鈴木昭三 ▽吉川浩一 ▽廣瀬つね
▽土田健一 ▽西宮一男 ▽中島仁平
▽浅野光一 ▽大庭健一 ▽岡一衛
▽佐々木明 ▽桜井敏雄 ▽綿引東
▽杉山ハツ ▽佐藤良輔

オアシス運動作文の入選作品紹介

「今年の石岡のお祭りには、きっと見に行こうね。」

私は、夏休みのころから、お母さんに約そくしておきました。

したが、お父さんもお母さんも仕事がいそがしそうで、今

年も行かれそうもありません。

ところが、夕方になつて、お母さんの「恵美、お祭りへ行くんだろう。お前も手伝つてよ。」と言う声が聞こえました。

私は、「はあい」と元気な声で返事をし、夕飯の用意にとりかかりました。

急いで夕飯をすませて出かけるときは、もう、うす暗くなつてしましました。

私は、運転するお母さんの地区の秋祭りの日でした。今日は、子供会のおみこしです。私はうれしくて、気持ちもうきうきしていました。そういう時ほど、自然とあいさつができるものです。多分みなさんも、私と同じだと思います。

おみこしをかついで元気よく、「ワッショイ、ワッショイ」といながら、公民館に着きました。すると、近所のおじさんがいて、「いつしょに写真を写してくれ」と、み

となりにすわって、外のけし

きを見ながら、昼まお母さんがいそがしく働くすがたを思

い出したら、なんだか急に、悪いなあと思いました。

「お母さん、すみません。わがまま言つてごめんね。」と言いました

が、どうしたのか声に

出ません。

心の中で言つただけで

石岡のお祭りは、ものすごい人でした。

「恵美、ししがでてるよ。見てごらん。」お母さんが言いました。

私は、「い

んなにたのみました。でも、おじさんはよっぱらつていたので、みんなは変な顔をしていました。

私は、「い

いですよ。」

と言つて、おじさんと

たつた一言の心のつながり

芦穂小六年 菊地 広美

せん。私は前の人をかき分け

るようにして、頭からもぐつて行こうとしたとき、「いてえ。だれだい。」とつぜんの声におどろきました。私は、この男の人の足をふみつけてしまつたのです。

私は、「ごめんなさい。」と

私は弱虫だろうか

東成井小五年 大和田恵美

みました。

「恵美、おみこしだよ。見

てごらん。」「だつて、ちつとも見えないよ。」私は、何回

も背のびをしました。

「どれ、恵美。」お母さん

は、私のことを軽く持ち上げ

て、だいて見せてくれました。

【見えた、見えた】私は

言いましたが、なんだか、お

母さんにすまない気持ちがし

て、「もう、いいよ。」と言つ

て、おろしてもらいました。

おみこしは、「ワッショイ、

ワッショイ。」言いながら、こ

つちへ来るところでした。

お母さんに手を引かれて、

お礼だと言うのです。

あの時のたつた一言の「い

ふんだ男の人と、ばったり会つてしましました。男の人は、私のことをにらめつけたよう

に思いました。私は、胸が「ど

きつ」としました。

「さつきはごめんなさい。」

と言つたはずですが、や

っぱり口から声が出なかつた

のです。

私は、弱虫なのだろうか、それとも、勇気がないのだろうか、と思いました。

私は、「おはようございま

す。」は、いつでもだれにでもできますが、どうして、別の言葉になるとでないのだろう。

人々に、いやな感じをさせ

ないよう、はやすくできるよう

にしたいと思います。

は、うれしくなりました。

お母さんは、近所の人には

あいさつをしなさい、と口ぐ

せのように言つています。で

も、冬時間になつてからは、

あまり言わなくなつてしま

ました。

お母さんに言われたからあ

いさつするのではなく、これ

からも近所の人には、進んで

あいさつをしたいと思います。

そして、あいさつやちよつと

した一言を、大切にしたいと

思います。

常磐道ロードレースに1470名が参加

常磐自動車道が、これまでの千代田石岡インターから、さらに那珂インターまで、3月27日に開通しました。この開通に先駆け、3月11日、千代田石岡から岩間インター間を利用した、開通記念ロードレース大会が開かれました。

この大会は、石岡市、美野里町、岩間町、八郷町の四市町が主催で行ったもので、3キロ、5キロ、15キロの3コースに、合わせて1,470名が参加、町からも55名が参加し、健脚を競いました。

なお、この那珂インターまでの開通で、常磐自動車道全線の約47パーセントにあたる83キロメートルが開通、来年3月の科学万博開催時には、埼玉県の三郷市、さらには首都高速への接続と、いっそう都心との距離が狭まります。



科学万博まであと1年

「科学万博一つくば'85」開催を1年後に控えた3月17日、「科学万博1年前県南地区大会」が土浦市の亀城プラザで開かれました。

開催地元として、観客を美しい環境の下で温かく迎え、万博を理解、協力し、参加する気運の盛り上げを図ろうと行われたもので、町からも、科学万博推進員の方々が参加しました。

大会では、エクスボ少年大使の体験発表などが行われた後、アトラクションとして会場から土浦駅前まで、市内の高校生らによるバトンガールやプラスバンド、婦人会による万博音頭などのパレードが、にぎやかに繰り広げられました。

また、この日は、県北、鹿行、県西地区でもそれぞれ「1年前大会」が催されました。



鼻アレルギーでお困りではありませんか

そこで今月は、鼻アレルギーについて取り上げてみました。

【原因】 鼻粘膜がアレルギー反応を起こすわけで、

その刺激の原因になる物質としては、家の中のちりやほこり、杉などの植物の花粉、犬や猫などの動物の毛、カビなど多くの種類があります。気管支ぜんそく、じんましんなどができるやすい、アレルギー体質の人によくあります。

【症状】 かぜなら二、三回のクシャミも鼻アレルギーやすい病気です。

このクシャミも鼻アレルギー

の場合は、鼻の中がムズムズして発作的にクシャミが立て続けに出ます。これは異物をはじき飛ばすためです。また、かんでもかんでも出でてくる鼻水は、異物を洗い流そうとする働きのためです。鼻が詰まるのは、炎症によって鼻粘膜が肥厚するからです。時に涙が出たり光をまぶしく感じることもあります。

【治療】

アレルギーの刺激に対する対症療法として、ビタミンなどの分泌を抑える予防薬を服用することもあります。

いずれにしても、このように毎春、鼻アレルギーに悩まされる方は、春は憂うつな季節と決めこまづ、ぜひ専門医に相談してみましょう。



大増小で最後の卒業式

3月24日、午前10時から、大増小学校で最後の卒業式（写真は卒業生の門出の言葉）が行われ、明治26年から90年にわたる学校の歴史の幕を閉じました。

卒業式を迎えたのは、男子7名、女子5名の12名の子供たちです。校長先生から1人ひとりに卒業証書が手渡され、両親を大切にする人・読書に親しむ人・恩を忘れない人・心身ともに健康な人になってくださいと、はなむけの言葉が贈られました。

◎ ありがとう

やまと文書

○芦穂小学校へ図書券一萬円

小屋 足立作右衛門

○同小学校へチューリップ鉢植え十二鉢と竹ぼうき五十本とぞうきん百五十枚

○大増小学校へ竹ぼうき五十本とぞうきん百五十枚

大増老人クラブ

○有明中学校へ竹ぼうき二十本

瓦会第一・第二老人会

赤頭巾雪の路傍にひたと建つ

雪晴れに自慢の咽喉やバスの旅

妻が外泊のときは、「おじちゃん一人で寂しいでしょう。」

と言つて、泊つてくれます。

娘が外泊のときは、「おじちゃん一人で寂しいでしょう。」

と言つて、泊つてくれます。

二人の肩を小さい手でたたいてくれ、それから毎晩

大字真家 高桑平一 そのやさしい

来でたたいてくれるので、そ

の親切さに感心しています。

学校から帰ると元気よく「た

だいま。」と言い、私が庭の草

短歌			
吉田次郎選			
夜半より降り出でし雪のつもりたる暁の庭かがよいはじめ	月岡 萩原照子	寒き強く梅の蕾のまだ固し彼岸近きにまた雪の来て	青田 関好雪
雪代のせせらぐ小川ひもすがら樹の間に遊ぶ春鳥の声	金指 小松崎嘉代	雪代のせせらぐ小川ひもすがら樹の間に遊ぶ春鳥の声	青田 関好雪
赤頭巾雪の路傍にひたと建つ	柿岡 野山貞子	赤頭巾雪の路傍にひたと建つ	柿岡 野山貞子
雪晴れに自慢の咽喉やバスの旅	下林 小野都枝	雪晴れに自慢の咽喉やバスの旅	下林 小野都枝
妻が外泊のときは、「おじちゃん一人で寂しいでしょう。」	青田 田上岳尾	妻が外泊のときは、「おじちゃん一人で寂しいでしょう。」	青田 田上岳尾
と言つて、泊つてくれます。	中戸 本橋由美子	と言つて、泊つてくれます。	中戸 本橋由美子
二人の肩を小さい手でたたいてくれ、それから毎晩	大木嶺月選	二人の肩を小さい手でたたいてくれ、それから毎晩	大木嶺月選
志望校への入試も通り晴れて見上げる青い空	赤頭巾雪の路傍にひたと建つ	志望校への入試も通り晴れて見上げる青い空	赤頭巾雪の路傍にひたと建つ
梅もほころび香りを放つ空は長閑な春霞	柿岡 野山貞子	梅もほころび香りを放つ空は長閑な春霞	柿岡 野山貞子
筑波み山の根雪もとけて草木芽生える春日和	下林 小野都枝	筑波み山の根雪もとけて草木芽生える春日和	下林 小野都枝
ふとんまで持	青田 田上岳尾	ふとんまで持	青田 田上岳尾
され、びっくりしました。それから、毎晩見回つてくれる	中戸 本橋由美子	され、びっくりしました。それから、毎晩見回つてくれる	中戸 本橋由美子
思いやりのある可愛い寝顔を眺めて、思わず、うれし涙で胸がいっぱいになります。	大木嶺月選	思いやりのある可愛い寝顔を眺めて、思わず、うれし涙で胸がいっぱいになります。	大木嶺月選
ある晩、テレビを受けたまま寝てしまつたことがあります。明朝、六年生の孫がそつ	赤頭巾雪の路傍にひたと建つ	ある晩、テレビを受けたまま寝てしまつたことがあります。明朝、六年生の孫がそつ	赤頭巾雪の路傍にひたと建つ
六年受け持ちの成田先生と、一年の大久保先生のご指導のたまものと、感謝しております。	柿岡 野山貞子	六年受け持ちの成田先生と、一年の大久保先生のご指導のたまものと、感謝しております。	柿岡 野山貞子

投稿

孫の愛情で楽しい毎日

私は、応召のため終戦の年、三十四歳のときの長男のため、孫が小さく、小学六年生と一年生の男二人の孫です。

下の孫は二歳から保育園に行き、三歳のときでした。私が迎えに行き、帰る途中、「おじちゃん、僕きょうはね、女のお友達三人から結婚申し込まれたけどどうしよう。お嫁さんは一人でいいよね。」と言わわれ、今の子どもたちがこんなに進んでいるのかと驚き、家中で大笑いました。

保育園の四年が終り、やつと一年生となつた敬老の日、私たち夕食が済み、自分た

ちの部屋に帰りました。すると孫が来て「大久保先生から、きょうは敬老の日だからお年寄りを大切にしなさいと教えられたから、肩をたたいてやる。」と、私とおばあさん二人の肩を小さい手でたたいてくれ、それから毎晩

「おじちゃん一人で寂しいでしょう。」と言つて、泊つてくれます。

夫とおばあさんふとんまで持され、びっくりしました。それから、毎晩見回つてくれる

夫達は、孫が小さいのと同居していることから、自然と愛情がわき、家中が健康で明るく笑つて暮らせる、楽しく幸せな毎日です。はたして、この見回りと肩たたきが、いつまで続くことかと思う、今

取りなどしていると「おじちゃんはお年寄りだから疲れた」ときて、消してくれたと聞か



「わが家のアイドル」

額賀 聰史ちゃん(上林)

父 文夫さん 母 安代さん

昭和57年12月11日生まれ(長男)

家族からの一言 自動車が大好きでお皿とか丸い物を見つけては「ウーー」と、ハンドル代わりに回して遊んでいるこのごろです。

とにかく、元気で明るい子に育つて欲しいと思います。

○筆記試験＝六月二十四日、(日)
 ○技能試験＝九月九日(日)
 ○午前九時～午後三時まで、(県立水戸工業高等学校)

△試験日時・場所

昭和五十九年度電気工事士試験が次のとおり行われます。

○筆記試験

六月二十四日、(日)
 午前十時～正午まで、(県立茨城大学)

○技能試験

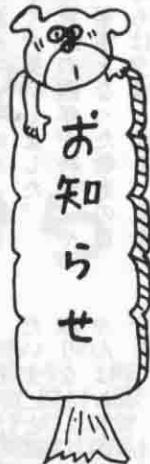
九月九日(日)
 午前九時～午後三時まで、(県立水戸工業高等学校)

△願書受付期間

五月七日(月)～五月十一日(金)まで

△願書提出、問合せ先

電気工事士試験案内



土浦市真鍋五一一七一六、
 県南地方総合事務所商工労政

課(☎〇二九八一三二一八五

(一一)

※なお、願書は直接持参して
 ください。

インチキ内職に注意

最近、「簡単な作業で高収入」「副業にピッタリ」などのキヤツチフレーズで、内職者を募る広告が数多く見られます。しかし、誇大広告やインチキ広告などで、思わず被害にあうケースも増えています。

県では、去る一月、一般から通訳のできる方を募り、善意通訳のボランティア活動を開始しました。

皆さん、外国の方と「ことば」でお困りの際は、ぜひ、この善意通訳の方にご連絡ください。しかし、善意通訳はあくまでボランティア活動で、ほとんどの方が会社員や学生

務所総務課県民室(☎〇二九八一二二一八五一)へ

内職を始めるときは、十分に気をつけましょう。なお、ご相談、お問い合わせ等は、役場開発課か県南地方総合事務所総務課県民室(☎〇二九八一二二一八五一)へ

ご存知ですか善意通訳

です。前もって連絡を取つてください。できる限り、皆さんのお役に立つよう努めます。また、通訳の方々は、街頭でもわかるように胸に「善意通訳バッチ」を付けています。

●岩田忠(柿岡☎三一六七二八)英語 ●真原美代子(眞家☎六一三四三一)英語、独語 ●高橋房子(小幡☎二一三五〇六)中国語 ●比氣しげ子(小幡☎四一三五三三)英語、英語 ●菱沼友江(東成井☎六一八〇〇)英語

4・5月の納税

4月 固定資産税第一期
 5月 軽自動車税全期
 国民年金第一期

△たばこ消費税は
 喫煙の中に
 生かれています



●たばこは地元で買いましょう。

市外の電話番号のお問合せ方法が変更に

※県では、引き続き善意通訳の募集を行っています。詳しくは県観光物産課(☎〇二九二二一四一四七二三)へ

三月三十日から、市外の電話番号のお問い合わせの方法が変りました。
 全国どこからでも、どこへでも「市外局番に続けて一〇四番」をダイヤルしてください。お知りになりたい番号の電話局が出ます。

なお、石岡電報電話局管内(石岡、岩間、美野里、千代田、小川、玉里、玉造、八郷各局)へのお問い合わせは、これまでと同じ、局番なしの一〇四番へダイヤルしてください。

八郷町の火災・救急出動件数(昭和59年中)

	3月中	累計
火災	建物	1件
	野菜	1
	その他	0
	計	2
救急	急病	15件
	交通事故	7
	その他	7
	計	29
	病院	51件
	通院	19
	他	26
	計	96